

新型コロナウイルスに関する情報を掲載する市ホームページ



新型コロナウイルス感染症



事業中止の張り紙をする生涯学習センター職員

八幡にも影響広がる

新型コロナウイルス感染症は拡大して世界各地に広がり、日本でも1月15日に神奈川県内で1例目の感染者が確認され、その後、全国で感染者の報告が相次いでいます。市では幸い感染者は確認されていない(3月24日現在)ものの、市民の皆さんの生活をはじめ、開催を予定していたイベントなどでさまざまな影響を受けています。



放課後児童健全育成施設を利用する児童(エタノール消毒の様子)



在校生などの出席を取りやめられた卒業式(八幡小学校)



買いだめによりトイレトイレットペーパーは在庫切れとなった

催し中止/施設休館



臨時休館されたさくらであい館

市では、1月31日から数回にわたって同感染症対策庁内連絡会議を開催。市庁舎等の出入口への消毒用エタノールの設置、注意喚起のためのポスターの掲示や多言語表記のチラシの広報紙への折り込み、市ホームページでの情報提供などの対応を実施してきました。

その後、対策本部に切り替えて、国の基本方針や要請を受けて、各種イベントの中止や小・中学校の臨時休校など、感染拡大を防止するための取り組みを進めました。

中止となった市や教育委員会の主催するイベントや、小・中学校の臨時休校を受け、放課後児童健全育成施設では共働き世帯への影響を考慮し、即座に平日の開所時間の前倒しを実施。利用する児童たちが安全にいつものように楽しく過ごせるよう、支援員たちが施設内の除菌や換気、こまめな手洗いなどの指導の徹底などに努めました。

また、卒業式では、来賓の出席を取りやめるなど、内容を一部変更・省略することはありませんが、保護者や教職員が卒業生の門出を祝いました。

市内小売店ではマスクの在庫切れが続いているほか、SNS上で拡散された誤情報でトイレトイレットペーパーの買いだめが起り、一時、陳列棚から姿を消しました。

現在も終息の兆しが見えない新型コロナウイルス。感染拡大防止のため、「集団感染しやすい場所や場面を避ける」「石けんおよび流水による手洗いの励行、咳エチケットの徹底」「風邪のような症状がある場合には、外出を控え、自宅で安静・療養をする」など、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

今月のこの人 キャッチ磨き全国2位



(後列左から)喜多 航基くん、羽木 蒼くん、若松 宙柱くん、多田 怜生くん
(前列左から)笠原 武流くん、大野 蘭丸くん

△プロフィール▽
フラッグフットボールチーム・京田辺リトルワイルドローバーに所属する市内在住の6人。地元の幼馴染同士で、小学1年生からフラッグフットボールを始める。令和元年12月に開催された「NFLフラッグフットボール日本選手権大会2019」小学生低学年カテゴリーで準優勝。美濃山小学校在学。

6人が所属する京田辺リトルワイルドローバーは、「NFLフラッグフットボール日本選手権大会2019」に出場し、準優勝、全国2位になりました。「日本選手権は、今までで一番緊張しました。負けてしまって悔しかったけれど、全員がタッチダウンを決めることができて、うれしかったです」と話す若松くん。

フラッグフットボールは、アメリカンフットボールのルールに基づき、「タックル」の代わりに、プレイヤーの両腰につけた「フラッグ」を取る競技。同競技を始めた当初は、楕円形のボールを手でキャッチしたり、フェイントの練習をしたりする

のが難しかったというメンバー。しかし練習を重ね、今では、パスプレーでのキャッチが得意となり、メンバーの高い運動能力を活かしながら、実力を伸ばしてきました。

「もっと強くなって、日本選手権大会でリベンジしたい」と意気込む6人。コーチや保護者の厚いサポートを受けながら、引き続き、日本一を目指していきます。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体等を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。秘書広報課へお問合せください。